

No	事務事業コード	事務事業の目的	R4年度決算額(円)		事務事業評価		事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費	1 担当部課名	内 人件費	2 評価責任者氏名			
事務事業名		R5年度決算額(円)	事務事業評価		R5年度決算額(円)		R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果		R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
			内 直接事業費	3 妥当性評価	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果		R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
			内 人件費	4 有効性評価	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果		R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
				5 効率性評価	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果		R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
					R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果		R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
1	60101010	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、本署の施設設備等の維持管理を行う。	18,163,633	事務事業評価		建築から36年経過し老朽化による不具合が発生しているため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については、早期に修繕を行う必要がある。	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	消防・救急体制の充実		11,540,264	1	消防本部 消防課				
	本署管理事務		6,623,369	2	鈴木 智博				
			16,476,328	3	高い				
			7,671,126	4	高い				
	8,805,202	5	普通						
							改善の効果	高い	
2	60101020	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、赤羽根分署の施設設備等の維持管理を行う。	11,455,381	事務事業評価		建築から25年経過し老朽化及び塩害による不具合が発生しているため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については、早期に修繕を行う必要がある。	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	消防・救急体制の充実		3,257,056	1	消防本部 消防課				
	赤羽根分署管理事務		8,198,325	2	鈴木 智博				
			12,901,685	3	高い				
			3,761,279	4	高い				
	9,140,406	5	普通						
							改善の効果	高い	
3	60101030	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、渥美分署の施設設備等の維持管理を行う。	18,280,539	事務事業評価		建築から52年経過し老朽化が進んでいるため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については、早期に修繕を行う必要がある。	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	消防・救急体制の充実		4,753,980	1	消防本部 消防課				
	渥美分署管理事務		13,526,559	2	鈴木 智博				
			25,021,877	3	高い				
			6,085,647	4	高い				
	18,936,230	5	普通						
							改善の効果	高い	
4	60101060	消防、救助活動業務の円滑な運営を図る。 火災等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、迅速かつ安全・的確な活動を実施する。	318,692,156	事務事業評価		職員の若年化が進む中、消防力の低下を抑えるため核となる中堅職員の更なるスキルアップを目指すとともに、若手教育を強化し消防力全体の底上げを図る。 多様化する災害の発生により、年々広域応援体制が強化される中、特異災害への対応力の向上を図る必要がある。	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	消防・救急体制の充実		6,716,591	1	消防本部 消防課				
	消防活動事業		311,975,565	2	鈴木 智博				
			302,118,454	3	極めて高い				
			7,641,493	4	高い				
	294,476,961	5	高い						
							改善の効果	高い	
5	60101070	東三河共同受信において迅速かつ的確な出動指令を行い、通信室において火災時の同報無線、災害時の無線統制、緊急通報システム受信及び各種連絡を行い各種災害による被害の軽減を図る。	96,106,516	事務事業評価		東三河消防指令センター及び東三河各消防本部と連携し、円滑な通信業務を実施している。 通信指令システム機器及び消防救急デジタル無線を維持管理していくため、修繕又は更新する必要がある。	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	消防・救急体制の充実		21,989,515	1	消防本部 消防課				
	通信指令事務		74,117,001	2	鈴木 智博				
			96,114,254	3	極めて高い				
			22,916,147	4	高い				
	73,198,107	5	高い						
							改善の効果	普通	
6	60101080	水火災等の災害時に安全・迅速な消防団活動を実施するため、装備・資機材の充実、被服等の貸与及び消防団車両の維持管理を行う。また、消防団員の処遇を改善し、地域防災力の充実強化に努める。	116,909,920	事務事業評価		災害形態の多様化により消防団活動が多岐にわたる、その役割はより大きくなっている。課題として団員の確保が厳しい現状であるが、市民の安心・安全を確保するには、地域に密着した団員の確保は必要不可欠である。	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	消防・救急体制の充実		101,382,521	1	消防本部 消防課				
	消防団活動事業		15,527,399	2	鈴木 智博				
			133,511,132	3	極めて高い				
			114,979,860	4	高い				
	18,531,272	5	高い						
							改善の効果	高い	
7	60101090	災害時の消防団活動を円滑にするため、消防団の活動拠点である詰所車庫の維持管理を実施する。	9,671,525	事務事業評価		市内22か所の詰所車庫を調査し、修繕を実施している。しかし、老朽化が進んできているため、適切な時期に修繕を行い維持管理を図る必要がある。	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	消防・救急体制の充実		5,840,837	1	消防本部 消防課				
	消防団施設管理事業		3,830,688	2	鈴木 智博				
			10,590,331	3	高い				
			7,611,929	4	高い				
	2,978,402	5	高い						
							改善の効果	高い	

No	事務事業コード	事務事業の目的	R4年度決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R5年度決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
8	60101100	火災予防啓発活動を積極的に実施し、市民の防火意識の向上を図るとともに火災を早期に発見し、火災による死傷者及び被害の軽減を図る。	30,063,543	事務事業評価		・防火対象物へ定期的な立入検査を行い、早期に違反是正を実施する。 ・実態が把握できていない非特定防火対象物について調査し、違反があれば是正を行う必要がある。	・特定防火対象物に対して立入検査を実施し、違反是正を行った。立入検査121件 違反是正9件 ・非特定防火対象物に対して立入検査を実施し、実態を把握するとともに違反是正を行った。立入検査33件 違反是正6件	・特定防火対象物、非特定防火対象物への立入検査を継続して実施し、法令に基づく維持管理の指導と違反是正を行う。 ・防火管理者未選任違反対象物の減少及び防火管理者の人事異動等による変更に対応できるよう、継続して防火管理講習を年2回開催する。
	消防・救急体制の充実		749,654	1	消防本部 消防課			
	火災予防推進事業		29,313,889	2	鈴木 智博			
			34,956,237	3	高い			
			727,243	4	極めて高い			
		34,228,994	5	高い				
		改善の効果		高い				
9	60101110	法令に基づき、危険物施設や煙火消費に係る事務の手続き及び立入検査等を適正に行い、危険物施設や煙火に関連する事故の発生を防ぎ、市民の安全を確保する。	21,806,309	事務事業評価		・危険物施設の許可、認可及び施設への立入検査を行い、安全操業の推進を図っている。 ・煙火消費に係る許可及び立入検査を行い、安全に消費できるよう指導している。 ・事故を未然に防ぐため、継続した立入検査や指導が必要である。	・危険物施設からの危険物漏えいや、煙火消費による事故を防ぐため、全危険物施設と煙火消費の立入検査を行った。 ・事故防止対策が必要なものについては適正に指導を行い、事故の防止に努めた。	・既存の危険物施設の多くは、設置からの年月が経過し老朽化が進んでいる。このことから、事故防止に向けた安全対策の推進を図り、業態に応じた適正な指導を継続的に取り組んでいく必要がある。
	消防・救急体制の充実		2,009,093	1	消防本部 消防課			
	危険物災害防止事業		19,797,216	2	鈴木 智博			
			27,886,043	3	高い			
			303,824	4	高い			
		27,582,219	5	普通				
		改善の効果		高い				
10	60101120	・災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、消防車両及び車両装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	38,345,719	事務事業評価		緊急車両として安全に使用できるよう万全な車両整備が必要である。今後も法定点検や自主点検を実施し、徹底した維持管理を行う必要がある。	・法定点検や自主点検を徹底し、交換が必要な部品を適切に交換することで、緊急車両の維持管理を行った。 ・特殊艦装車(はしご車、大型高所放水車、CAFS装備車)のメンテナンスを艦装メーカーで実施して安全運行を徹底した。	・車両及び資機材等の法定点検及び自主点検の徹底を継続し、故障が発見された場合は修繕を行い、緊急車両として維持管理を行う。 ・特殊艦装車は高度な整備と管理が必要で、計画的なメンテナンス等により安全運行を図る必要がある。 ・車両の老朽化による故障が増加し緊急時に適切な対応ができなくなる恐れがあるため、計画的な車両更新に努める。
	消防・救急体制の充実		9,414,306	1	消防本部 消防課			
	消防車両等維持管理事務		28,931,413	2	鈴木 智博			
			37,660,061	3	高い			
			12,378,319	4	高い			
		25,281,742	5	普通				
		改善の効果		普通				
11	60101130	・水難救助活動の円滑な運営を図る。 ・水上バイクの機動性を生かし、迅速かつ安全・的確な活動を実施する。	15,326,653	事務事業評価		・水難事故発生において迅速で効率的な救助活動を実施するため、特別水難救助隊の知識・技術の向上に努めた。 ・水難救助活動を安全かつ継続的に行うため、特別水難救助隊員の養成が必要である。	・特別水難救助隊員の養成を行った。 機関員養成4人 新規隊員養成4人 ・水難救助活動に必要な資機材の点検整備を行った。	・水難救助活動の円滑な運営のため、計画的に特別水難救助隊員の養成を行い、継続して訓練を実施する。 ・水上バイク、トレーラの法定点検や自主点検を実施し、維持管理を行う。 ・水上バイクの故障時等に対応するため、水上バイク2台目配備の検討が必要である。
	消防・救急体制の充実		1,166,871	1	消防本部 消防課			
	特別水難救助隊活動事業		14,159,782	2	鈴木 智博			
			17,806,811	3	極めて高い			
			1,894,734	4	高い			
		15,912,077	5	高い				
		改善の効果		極めて高い				
12	60102010	火災による被害を最小限に抑えるため、消防水利として防火水槽の整備推進を図る。	26,993,487	事務事業評価		消防力の一つである防火水槽の整備は消防の責務であるため、老朽化した防火水槽を耐震性を有する防火水槽に更新する。	老朽化した防火水槽を更新し、中山町と保美町に耐震性防火水槽2基を設置した。	老朽化した防火水槽の取壊しを行うとともに、消火栓配置を考慮し、防火水槽の適正配置に努める。
	消防・救急体制の充実		19,204,123	1	消防本部 消防課			
	防火水槽整備事業		7,789,364	2	鈴木 智博			
			40,470,575	3	高い			
			28,655,000	4	高い			
		11,815,575	5	普通				
		改善の効果		高い				
13	60102020	・火災時の迅速な消火活動に備え、既設防火水槽の補修等を行い有効水利を確保する。 ・無蓋防火水槽の防護金網を取替え、安全確保に努める。 ・消火栓や他の防火水槽との水利状況を考慮し、老朽化した無蓋防火水槽の取壊しを進める。	11,847,278	事務事業評価		消防水利を常時使用できるよう巡視点検を充実させるとともに、安全上の維持管理や環境改善、看板等の管理の徹底を図る。	水利標識、防火水槽用金網交換を実施するとともに、老朽化した防火水槽6基の取壊しを行った。	・有事の際に円滑な消防業務が行えるように消防水利の維持管理を行うとともに、老朽化した消防水利の取壊し、修繕に取り組む。 ・無蓋防火水槽の安全対策を計画的に実施する必要がある。
	消防・救急体制の充実		2,872,638	1	消防本部 消防課			
	消防水利維持管理事務		8,974,640	2	鈴木 智博			
			14,592,376	3	高い			
			8,446,503	4	高い			
		6,145,873	5	普通				
		改善の効果		高い				
14	60102030	・消防水利として消火栓の適正な配置を考慮し整備を図る。 ・火災時に消火栓が適切に使用できるよう、維持管理・補修を実施する。	21,469,083	事務事業評価		水道事業と連携し、耐震性のある水道管を有効利用し、消防水利の効率的な整備を実施する。	消火栓の新設・布設替え等の整備は、水道事業と協議し、消防水利の基準に基づき適正配置に努めることができた。 消火栓設置工事 3基 消火栓撤去工事 6基	・水道事業と連携し、防火水槽配置を考慮しながら消防水利の基準に基づき消火栓の適正配置に努める。
	消防・救急体制の充実		16,006,170	1	消防本部 消防課			
	消火栓設置・維持管理事務		5,462,913	2	鈴木 智博			
			23,386,121	3	高い			
			17,905,360	4	高い			
		5,480,761	5	高い				
		改善の効果		高い				

No	事務事業コード	事務事業の目的	R4年度決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名						
			R5年度決算額(円)	3	妥当性評価						
			内 直接事業費	4	有効性評価						
内 人件費	5	効率性評価									
15	60102040	各種災害に対応するため、老朽化し機能低下した消防車両の更新整備を図る。	34,112,602	事務事業評価					消防車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な消防活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽化の程度等を考慮し計画的に更新を図っている。	・老朽化した消防署救助工作車の更新を行った。 ・新モデルシヤシの生産に遅れが生じ、年度内の完了が見込めなくなったため、翌年度へ繰り越した。	・消防車両更新計画に基づき、地域の特性に合わせた車両機装をするともに、車両積載資機材についても各種災害事案に活用できる資機材の導入に配慮する。 ・消防活動に欠くことができない車両は、整備する必要性が高いため計画的に更新する。
	消防・救急体制の充実		33,385,000	1	消防本部 消防課						
	消防車両整備事業		727,602	2	鈴木 智博						
			4,252,746	3	極めて高い						
			0	4	高い						
4,252,746	5	高い									
改善の効果	普通										
16	60102050	地域住民の安心・安全を確保するため、機能低下した消防団車両を更新し消防力の向上を図り、火災等の各種災害による被害を軽減する。	14,914,885	事務事業評価					消防団車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な消防団活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽化の程度等を考慮し計画的に更新を図っている。	・現有消防ポンプ自動車を運行するためには、準中型免許が必要であるため、車両更新に合わせ普通免許で運行可能な小型動力ポンプ付積載車に変更した。 ・童浦分団1号車	・更新に際しては、新免許制度への対応を考慮し、地域の特性に合わせた車両機装をするともに、車両積載品についても震災時に活用できる資機材の導入に配慮する必要がある。 ・消防団活動に欠くことのできない車両は、整備する必要性が高いため計画的に更新する。
	消防・救急体制の充実		10,332,603	1	消防本部 消防課						
	消防団車両整備事業		4,582,282	2	鈴木 智博						
			14,222,960	3	極めて高い						
			10,884,224	4	極めて高い						
3,338,736	5	高い									
改善の効果	普通										
17	60102090	地域における消防防災活動の中心的な役割を持つ消防団員の活動拠点として、詰所車庫を整備し、活動体制や機能の充実を図る。	0	事務事業評価					・老朽化が進んでいる詰所車庫の調査を継続して行い、計画的に建設、修繕及び更新を行う必要がある。	効果的な消防団活動に向け、老朽化した野田分団1号車、2号車詰所車庫を統合し整備するため、設計業務等を行った。	・消防団を取り巻く状況が変化しており、今後の消防団のあり方を考えるとともに、詰所車庫の建設計画も検討が必要である。 ・火災対応のみならず、風水害や長期間の活動も視野に入れ、手狭な詰所車庫は更新する。また、建築年数及び劣化度を調査し、修理及び更新により、施設の長寿命化を図っていく。
	消防・救急体制の充実		0	1	消防本部 消防課						
	消防団施設整備事業		0	2	鈴木 智博						
			5,480,457	3	高い						
			4,537,600	4	高い						
942,857	5	高い									
改善の効果	普通										
18	60103010	救急救命士等を計画的に養成し、気管挿管及び薬剤投与認定救命士を順次養成する。また、心肺停止前の輸液、血糖値測定及びブドウ糖溶液投与ができる救急救命士を養成する。	36,866,254	事務事業評価					救急救命士の管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難になってくるため、毎年1人以上の養成が必要である。また、救急救命士業務の高度化に対応するため薬剤投与認定救急救命士、処置範囲拡大認定救急救命士の養成も必要である。	救急救命士業務の高度化に対応するため、継続して薬剤投与認定救急救命士、処置範囲拡大認定救急救命士及び気管挿管認定救急救命士を養成する。 ・救急救命士の管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難となるため、計画的に救急救命士を養成していく。	
	消防・救急体制の充実		3,336,950	1	消防本部 消防課						
	救急救命士等養成教育事業		33,529,304	2	鈴木 智博						
			37,211,374	3	極めて高い						
			3,410,560	4	極めて高い						
33,800,814	5	高い									
改善の効果	高い										
19	60103020	・救急活動に関する業務の円滑な運営を行う。 ・災害から市民の生命、身体を迅速、安全、的確な活動により保護する。	290,441,659	事務事業評価					・救命率及び社会復帰率の向上を図るため、チームトレーニングを十分にを行い、現場滞在時間の短縮、質の高い救急活動を行う必要がある。	・様々な症例を想定したチームトレーニングを行い、救急活動の円滑化及び質の向上に努めた。 ・感染防止対策用資機材の整備に努め、全救急出動において感染防止対策を行った。 ・救急車積載用除細動器を2台更新し、資機材の充実を図った。	・高度化する救急業務に対応するため、資機材の充実及び隊員の育成を図る。 ・救命率の向上を図るため、コンビニエンスストアのAED設置を継続する。
	消防・救急体制の充実		12,574,713	1	消防本部 消防課						
	救急活動事業		277,866,946	2	鈴木 智博						
			283,752,804	3	極めて高い						
			17,867,966	4	高い						
265,884,838	5	高い									
改善の効果	高い										
20	60103040	救命講習(AED講習を含む)を実施し、市民等への応急手当の普及啓発に努め救命率を高める。	12,300,818	事務事業評価					救命率の向上には、救急隊到着前のバイスタンダーによる救命手当が重要であり、地域、企業等でAED設置整備が進む中、救命講習の受講者数を増やしていく必要がある。	・救命講習受講者数3,131人 ・耐用年数の過ぎた資機材の更新を行った。	・救命講習の受講者数の増加に向けて、安心して受講できる環境をつくる必要がある。 ・資機材の計画的な更新を図る必要がある。
	消防・救急体制の充実		373,349	1	消防本部 消防課						
	救命講習推進事業		11,927,469	2	鈴木 智博						
			12,709,128	3	極めて高い						
			999,572	4	高い						
11,709,556	5	普通									
改善の効果	高い										
21	60103050	・災害から市民の生命及び身体を保護するため、救急車両及び装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	17,224,564	事務事業評価					・緊急車両として安全に使用できるよう万全な車両の整備が必要である。 ・継続的に法定点検及び自主点検を行い徹底した維持管理を行う必要がある。	法定点検及び自主点検の徹底を継続し、緊急車両としての維持管理を行った。	・車両及び資機材等の法定点検及び自主点検の徹底を継続し、故障が発見された場合は修繕を行い、緊急車両として維持管理を行う。 ・計画的な車両更新に努める。
	消防・救急体制の充実		2,881,806	1	消防本部 消防課						
	救急車両等維持管理事務		14,342,758	2	鈴木 智博						
			24,025,524	3	極めて高い						
			3,134,992	4	高い						
20,890,532	5	普通									
改善の効果	普通										

No	事務事業コード	事務事業の目的	R4年度決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R5年度決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価	5 効率性評価			
			内 人件費					
22	60201010	地震・津波、風水害等による自然災害からの被害を最小限に抑えるため、自治会等を中心に自主的に組織された自主防災会の活動及び防災資機材等の整備を支援する。	20,466,004	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨励金、補助金により自主防災活動の支援を実施。</li> <li>・自主防災活動推進地区を毎年2地区指定して自主防災活動の重点支援を実施しているが、地域防災力のさらなる向上に向け、継続実施の必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亀山、福江地区で推進地区活動の重点支援を実施。地域の特性に応じた取組を行うことで、防災上の課題を検討し、地域防災力の向上及び地域住民の意識高揚を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進地区活動重点支援の取組は、令和8年度で各コミュニティ協議会が2回通り実施を終える予定であるので、継続していく。発生が危惧されている震災に対応するため、さらなる地域防災力の向上に向け取組の充実を図る。</li> </ul>
	防災・減災体制の充実		10,562,979	1	防災局 防災対策課			
	自主防災活動推進支援事業		9,903,025	2	河合 欽史			
			25,316,107	3	極めて高い			
			13,504,422	4	高い			
		11,811,685	5	高い	改善の効果	高い		
23	60202010	各種訓練の実施、講習会・講演会等の開催を通して、市民へ地震や津波、その他自然災害への防災・減災意識の高揚を図る。	15,840,412	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練、防災カレッジ、ほーもん講座、子ども防災教室等を実施し、市民の意識啓発を図った。</li> <li>・港湾業務艇を初めて使用して、物資だけでなく救援部員及び保健師を乗船させ、孤立地域へ輸送する訓練を実施し、災害対応力の向上を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より実践的な内容を取り入れた訓練・講習会等の実施による啓発を推進する。</li> <li>・庁内各部局に対する訓練や講習などに取り組み、災害対応力の向上を図る。</li> </ul>	
	防災・減災体制の充実		4,135,078	1	防災局 防災対策課			
	防災意識啓発事業		11,705,334	2	河合 欽史			
			18,014,021	3	極めて高い			
			3,693,760	4	高い			
		14,320,261	5	高い	改善の効果	高い		
24	60202030	防災会議の開催、各種計画及びマニュアル等の改定・進捗管理、自助による防災対策の支援等により、災害に強いまちづくりを推進する。	35,676,092	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模自然災害に対する災害対策の推進が必要であり、南海トラフ地震による津波や風水害への対応については、自助、共助、公助が一体となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災計画の修正及び各種計画等における進捗管理を実施した。</li> <li>・田原市災害対策本部運営チェックマニュアルを改定した。</li> <li>・自助による防災対策を支援するため、田原市ハザードマップを作成し、全戸配布した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震・津波災害、風水害等の大規模災害に対し、的確な状況把握と迅速な行動、初動から復旧・復興に関する一連の災害対策を的確に推進していく。</li> <li>・また、国のガイドライン等に基づき、南海トラフ地震及び風水害に備えた取組を図る。特に南海トラフ地震臨時情報についての周知活動を行っていく。</li> <li>・南海トラフ地震に関する国及び県の被害想定に併い、市の被害想定も見直しを図る。</li> </ul>
	防災・減災体制の充実		6,858,352	1	防災局 防災対策課			
	災害対策事業		28,817,740	2	河合 欽史			
			36,559,200	3	極めて高い			
			4,790,656	4	普通			
		31,768,544	5	高い	改善の効果	高い		
25	60202050	台風、集中豪雨等による水害や土砂崩れに対応するため、防災用備蓄土のう及び防災資機材を整備し被害の軽減を図る。	3,109,103	事務事業評価		風水害等の災害時に備え、必要とされる資機材の確保を行う。	出水期等による水害や土砂崩れに対応するため、市内に備蓄している防災用備蓄土のうの更新を行った。防災用備蓄土のう更新 5,400袋	風水害等の災害に対応するため、必要とされる備蓄資機材の整備を行う。
	防災・減災体制の充実		2,093,413	1	消防本部 消防課			
	災害対策事業(消防)		1,015,690	2	鈴木 智博			
			2,888,806	3	高い			
			2,108,890	4	高い			
		779,916	5	高い	改善の効果	高い		
26	60203020	老朽化が進行する防災行政無線(同報系:屋外拡声設備)を再整備し、広く市民が、緊急性の高い防災情報や行政情報を得るための手段の充実を図る。旧型のアナログ式設備からデジタル式の設備に更新し、機能の向上・保守の確実化を図る。 ※令和4年度は事業なし	0	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度から令和7年度までの3か年を工期とした同報系防災行政無線の更新工事を施工中。</li> <li>・同報系防災行政無線と連動する防災アプリを更新工事事業内で整備中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線更新工事を着工した。</li> <li>・防災アプリの整備を開始した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度までの整備工事を継続する。</li> <li>・令和6年度中に防災アプリのサービスを開始する。</li> </ul>
	防災・減災体制の充実		0	1	防災局 防災対策課			
	防災情報通信施設等整備事業		0	2	河合 欽史			
			673,518,599	3	極めて高い			
			668,800,000	4	極めて高い			
		4,718,599	5	高い	改善の効果	普通		
27	60203030	洪水、高潮又は津波による水害等の災害発生の防止に努め、応急対策を行うために必要な資材の整備を図る。	3,091,051	事務事業評価		災害時の被害軽減及び迅速な対応ができるよう資機材の充実と適正な維持管理が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水等の被害軽減を図るために排水ポンプの操作訓練を実施し、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。また、災害対応者の安全性向上を図るために資材の充実に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地で発生している豪雨等大規模な水害に備えるため、さらなる資機材の充実を図るとともに、資機材の使用方法等の訓練を実施することにより、災害現場での迅速な対応及び被害の軽減に繋げる。</li> </ul>
	防災・減災体制の充実		666,151	1	都市建設部 維持管理課			
	水防対策事業		2,424,900	2	渡會 英樹			
			4,219,503	3	極めて高い			
			1,388,164	4	高い			
		2,831,339	5	普通	改善の効果	普通		
28	60203040	災害発生時における災害応急活動・災害復旧活動等を迅速かつ確実に実施するため、食糧や資機材など公的備蓄物品の備蓄及び適切な維持管理を図る。	18,238,915	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な在庫数の把握、備蓄計画の見直しをする必要がある。</li> <li>・孤立化が想定される渥美地区の備蓄を拡充する必要があるが、保管スペースの確保が課題となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫数と消費期限管理を効率化するため、整理整頓・配置換えを行った。</li> <li>・能登半島地震を踏まえ、衛生対策物品の備蓄を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄計画の見直しを進め、大規模災害時に有効な物品の備蓄を検討・配備していく。</li> <li>・在庫棚卸と、整理整頓による保管スペースの確保を図る。</li> <li>・指定避難所への分散備蓄の推進を図る。</li> </ul>
	防災・減災体制の充実		13,658,398	1	防災局 防災対策課			
	防災備蓄資機材等管理事業		4,580,517	2	河合 欽史			
			21,677,511	3	極めて高い			
			14,864,976	4	高い			
		6,812,535	5	高い	改善の効果	高い		

No	事務事業コード	事務事業の目的	R4年度決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	R5年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	R6年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R5年度決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
29	60203050	防災施設(津波避難施設、防災備蓄倉庫等)や防災設備(津波避難看板、避難誘導照明灯、防災ベンチ等)の適切な維持管理を図る。	<b>8,018,287</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定避難所に開設される医療救護所の医療救護体制の確保・充実が課題。</li> <li>津波避難看板や飲料水兼用耐震性貯水槽等の防災設備の老朽化が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害用救急医療セットの更新を行った。</li> <li>災害発生時に設備等が適正に使用できるように点検等を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害用救急医療資材の継続的な更新を行う。</li> <li>防災設備の点検を継続的にを行い、必要に応じて修繕等を行う。</li> </ul>
	防災・減災体制の充実		5,360,324	1 防災局 防災対策課				
	防災施設等管理事業		2,657,963	2 河合 欽史				
			<b>6,111,707</b>	3 高い				
			3,261,253	4 高い				
		2,850,454	5 普通					
30	60203060	地震・津波・風水害等の災害情報や交通安全・防犯情報、その他市政全般に関する情報を、市民に対し迅速かつ的確に伝達するため、防災行政無線を始め各種防災情報通信機器の適切な管理運用を図る。	<b>47,514,628</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>防災行政無線を始め、各種防災情報通信機器の維持管理を行っているが、機器等の老朽化が著しく、修繕等が難しくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器の保守点検を実施した。</li> <li>故障機器の修繕・改修を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災情報通信設備の点検を継続的にを行い、必要に応じて修繕等を行う。</li> <li>老朽化した設備について、計画的な更新を図る。</li> </ul>
	防災・減災体制の充実		35,814,308	1 防災局 防災対策課				
	防災情報通信施設等管理事業		11,700,320	2 河合 欽史				
			<b>33,787,916</b>	3 極めて高い				
			29,069,317	4 極めて高い				
		4,718,599	5 高い					
31	60204020	田原市耐震化促進計画に沿い、民間住宅等建築物の耐震化を推進することにより都市の防災性を高め、震災から市民の生命と財産を守る。	<b>36,098,858</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種啓発活動とともに、無料耐震診断や耐震化工事への補助等を行っている。</li> <li>耐震性の低い建築物所有者へ耐震化対策の関心を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域での耐震化講演会や過去に無料耐震診断の実施した方を対象とした無料相談会の開催、小学校への耐震出前講座を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診断ローラー作戦や無料相談会、出前講座、ダイレクトメールなどでの啓発活動を行う。</li> <li>大学教授や愛知建築地震災害軽減システム研究協議会との連携による地域への防災街づくりの取組支援や、耐震改修工事を安価にするため大工等への勉強会の開催など一層の耐震化啓発を行う。</li> </ul>
	防災・減災体制の充実		24,272,770	1 都市建設部 建築課				
	建築物耐震化推進支援事業		11,826,088	2 平井 堅一郎				
			<b>42,533,184</b>	3 極めて高い				
			28,799,940	4 高い				
		13,733,244	5 普通					